



受験サプリ

進路選択の幅を広げるために 習熟度別学習で基礎学力向上を

— 尼崎高校(兵庫・県立) —

取材・文／丸山佳子



左から
進路指導部長／教育と絆コース長
松岡昭彦先生
2年担任(地理歴史・公民科)
田畑北斗先生

School Data

創立1923年／普通科
生徒数934人(男子410人・女子524人)
進路状況(2014年度)大学進学105人、短大進学26人、
専各進学82人、就職25人、その他27人
兵庫県尼崎市北大物町18-1
TEL 06-6401-0643
URL <http://www.hyogo-c.ed.jp/~kenama-hs/>

■「受験サプリ」の活用術

- コンピューター室のインフラ整備で快適に活用できる環境を

「受験サプリ」の導入に際しては、40台のパソコンが設置された2つのコンピューター室の回線を見直し、快適に活用できる環境整備からスタート。生徒たちは、教科の補習として講座を視聴するためにコンピューター室を活用している。



- 自宅で視聴できない生徒のために「受験サプリクラブ」を設置

自宅にパソコンがない、スマートフォンも持っていない生徒のために、同校ではiPad Airを3台購入。登録すれば、進路指導室内で視聴できる「受験サプリクラブ」を設置している。

このクラブを活用している1年生からは、「受験サプリ」の週末課題が出ている時には、必ず進路指導室で視聴しています。またテストの前は、テスト範囲に対応する「受験サプリ」の講座を視聴しています。わかりやすいので、とても役立っています」という声が。

- 誉める声かけや、表彰制度で、生徒のやる気を促進



生徒の講座視聴時間を教師が把握できる点も、「受験サプリ」のメリットだという。「おかげで、生徒の努力を発見し、誉める機会が増えました。私のクラスでは、成績が上がった生徒だけでなく、「受験サプリ」の視聴時間が増えた生徒にも、努力を讃えるとともに今後もクラスメイトにより影響を与えることを期待してこれを表します」と田畑先生。

進学から就職希望まで、多様な生徒が集まる県立尼崎高校は、2012年に兵庫県教育委員会から研究指定を受け、3年間の「学力向上推進プロジェクト」事業に取り組んできた。大学進学希望者を対象とした「アドバンスクラス」、専門・各種学校、就職希望者対象の「スタンダードクラス」に加え、昨年から従来の教育総合類型コースを、推薦入学によって教員を指す「教育と絆コース」(1クラス)へと改編強化。今年度からは、基礎学力を向上させ、全校のレベルアップを図る学習指導開発に力を入れている。

到達度テストと動画講座で、 中学レベルからの復習が可能に

同校が3年間の「学力向上推進プロジェクト」事業を通して再認識したのは、十分に学習内容を理解できていない生徒が多く、進路選択の幅を狭めているということだった。「テストで生徒の苦手分野はわかって、中学レベルまで遡って個々の習熟度にも、中学レベルまで遡って個々の習熟度に

合わせた指導を行うのは難しい。また、家庭学習の定着も大きな課題でした。そこで今年4月から取り入れたのが、「受験サプリ」です。到達度テストで生徒が自分の基礎学力を把握でき、理解できていない単元については中学レベルから動画の講座で学習ができるため、学年単位、教科単位、補習、家庭学習など、多彩な場面での活用が期待できるからです」と、進路指導部長の松岡昭彦先生。

動画視聴が増えた生徒は成績 向上。今後の課題は活用研究

「1年生の先生たちは、4月に実施した到達度テストの結果から生徒の苦手分野を把握し、週末課題として視聴する動画を生徒に指示。動画を視聴しているかを教師がチェックし、視聴できていない生徒には、再視聴をさせる指導をしました。動画

の視聴時間が増えた生徒は成績も向上しましたが、頑張り過ぎると生徒も教師も息切れするので、その点の改善が今後の研究テーマです」と松岡先生。

一方、クラス単位、教科単位で活用を進めてきた2年生は、全生徒への浸透が今後の課題だという。

「定期考査前には、基礎と応用に分けた「受験サプリ」対応講座のシラバスを生徒に配布。週末や夏休みの課題にも活用してきましたが、勉強の必要性を自覚できない生徒たちは、まだ自主的な講座の視聴ができていません。こうした生徒たちには、押し付けるのではなく、視聴時間が伸びたら誉める、表彰をするなどの方法で意識改革を促しています。「受験サプリ」を活用して勉強が楽しくなってきたという生徒たちがほかの生徒を巻き込み、自発的に学べる環境を作りたいですね」と2年担任の田畑北斗先生。

「受験サプリ」導入で、基礎学力を向上できる公立高校へと改革を図りたいという同校。活用研究は、これからが本番である。